

事業評価書

補助事業名	小牧基地関連公共用施設牛乳保冷库等整備事業		
補助事業者名	春日井市長		
実施場所	春日井市下市場町地内外		
補助事業の成果の目標	<p>牛乳保冷库は、市内小中学校の給食用牛乳の冷蔵に用いているが、購入後10年近くが経過し、修繕等が必要な状況が度々発生している。一方、保健室で応急処置時等に使用する自動製氷機についても購入後10年以上が経過し、十分に機能せず、業務に支障が出ている。</p> <p>このため、老朽化した牛乳保冷库等の更新により、児童・生徒に対し、安全な給食の提供及び適切な応急処置が可能な環境を維持し、もって小牧基地周辺の生活環境の向上を図る。</p>		
補助事業の内容	牛乳保冷库 6台、全自動製氷機 2台		
補助事業の始期及び終期	令和5年度		
事業費及び交付金額		令和5年度	計
	事業費	2,488,200円 (2,646,600)円 ※()内は全体事業費	2,488,200円 (2,646,600)円 ※()内は全体事業費
	交付金額	2,363,000円	2,363,000円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>今回整備した牛乳保冷库は、南城中学校を始めとする市内6校で、そして自動製氷機は藤山台中学校を始めとする市内2校で運用を開始している。牛乳保冷库及び自動製氷機を利用する職員へのアンケート調査の回答では、牛乳保冷库では清潔感及び搬出入のしやすさといった点、自動製氷機では、製氷機能の安定性、清潔感・美観、ドア開閉のしやすさ、氷の取り出し等の作業のしやすさの4項目での向上が認められた。</p> <p>牛乳保冷库は適切な温度管理及び清潔性の確保が、安全な給食の提供に不可欠なため、温度管理、清潔な環境維持のしやすさ及び速やかな牛乳の搬出入を行う必要がある、操作パネルが分かりやすくなり、手入れをしやすくなったという意見からも、これらの点の向上により、作業環境が改善されたと言える。また、自動製氷機についても、応急処置時等に使用することから、製氷機能の安定性が求められており、この点が向上したことにより、応急処置が可能な環境の維持に貢献している。小牧基地周辺の生活環境の向上が図られているものと考</p>		

	える。また、冷蔵庫に防衛省調整交付金事業のステッカーを貼付し、校内利用者に周知を行っている。
事業の改善策及び今後の対応	無
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無